

歴史総合、世界史探究

- 【I】 「歴史総合」の授業で、青山さんと馬場さんは「日本の産業革命」というテーマを探究し、調べた内容を以下のようなノートにまとめた。これに関し、以下の設問に答えなさい。

〔日本の産業革命〕

○ 明治維新後の新技術の導入

〔できごと〕

- ・ 明治維新後、欧米の先進的な技術を導入するため、政府が外国人の技術者・学者(お雇い外国人)を雇用して官営事業による殖産興業を進めた。
- ・ 1871年には次のようなことが行われた。

X を定めて洋式の金貨・銀貨の製造を開始した。

前島密の建議により郵便制度が発足した。

官営模範工場として富岡製糸場が設立された。

①

〔背景・影響〕

- ・ 明治政府は富国強兵を目指して欧米の技術の導入による殖産興業に力を入れた。
- ・ 欧米技術の導入は、なかば外交上の課題としてとらえられ、欧米各国から整備の要求や投資の申し出があった分野を中心におこなわれた。

○ 日本の産業革命

〔できごと〕

- ・ 1881年に松方正義が大蔵卿に就任し、1882年に Y が設立された。
- ・ 1883年に渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社が大阪に大規模な工場を開業した。
- ・ 1897年に八幡製鉄所が設立された。
- ・ 1906年に鉄道国有法が定められた。

②

〔背景・影響〕

- ・ 松方正義は官営事業の整理を進めて財政緊縮を実施した。
- ・ 松方財政のもとで貨幣制度が安定したことにより、1886年から株式会社の設立が盛んになり(最初の企業勃興)^③、日本における産業革命が始まった。
- ・ 当初は軽工業中心だったが、しだいに鉄鋼業や造船業などの重工業も発展した。^④
- ・ 日清戦争後には鉄道や紡績などの産業で再び企業勃興がおこった。

設 問

1. ノート中の空欄 には語句 a か b, 空欄 には語句 c か d のいずれかが当てはまる。空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢から 1 つ選び、その記号をマークしなさい。

Xに当てはまる語句

- a. 新貨条例
- b. 貨幣法

Yに当てはまる語句

- c. 国立銀行
- d. 日本銀行

- ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

2. 資料1は下線部①の富岡製糸場の内部を描いたものである。青山さんと馬場さんはこの絵を見ながら産業革命について話している。会話文の中の空欄 X に入るものとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 2

[資料1] 富岡製糸場の内部

著作権の都合により掲載いたしません。

青山さん：欧米の産業革命は18世紀末のイギリスの綿織物、つまり軽工業から始まったけれど、日本でも軽工業から始まったの？

馬場さん：うん。日本では明治維新後に輸出の中心だった生糸の生産拡大にまず力を入れて、製糸・紡績の産業で官営模範工場を設けて殖産興業を進めたんだよ。

青山さん：官営模範工場というと富岡製糸場が有名だよな。

馬場さん：綿花の栽培や綿糸・綿織物の生産はイギリス製綿製品の輸入が拡大して一時期は衰退したけれど、輸入綿糸を用いたり紡績機械を輸入するようになって機械制生産が広まり、日本の産業革命の中心となったんだよ。

青山さん：この資料を見ると多くの女性が働いているのがわかるね。

馬場さん：そうだね。 X

青山さん：イギリスの紡績工場を描いた絵でも女性と子どもが多く描かれているから、どこでも同じなんだね。

- ア. 士族の子女が花嫁修業として手紡による綿糸生産の技術を学ぶために全国から働きに来ていたんだよ。
- イ. 江戸時代は職人が麻や木綿などの織物の生産をおこなっていて、業種ごとに仲間や組合をつくっていたから女性はできなかったけれど、明治維新後は仲間や組合が解体されて女性も従事できるようになったんだよ。
- ウ. 男性よりも低い賃金の女性労働者を多く雇い入れて工女として養成したんだよ。
- エ. 明治維新によって女性の社会進出が進んでいくなかで、特に新しい産業では多くの女性が活躍していたんだよ。

3. 下線部②に関連して、鉄道網が全国に拡大していく過程に関する記述として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

- ア. 鉄道事業は民営の鉄道会社の参入が盛んで、1889年には民営鉄道の営業キロ数が官営鉄道の営業キロ数を上回った。
- イ. 政府は民営の鉄道会社を補助したが、民営の中小の鉄道会社の倒産が相次いだため鉄道国有法を定めて経営不振の中小の鉄道会社を買収した。
- ウ. 軍事面での必要性から明治政府は全国的な鉄道網の実現を目指し、日清戦争までに東北から九州まで官営鉄道で結ばれており、日清戦争で大いに活用された。
- エ. 民営鉄道の拡大を警戒した政府は半官半民の日本鉄道会社を設立して民営鉄道と競争させたが、競争が過熱したため、鉄道国有法で競争の鎮静化をはかった。

4. 下線部③に関連して、松方財政の時期の貨幣制度に関する記述として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4

ア. 当初は主に国内で流通していた銀貨の信用が高かったことから銀兌換紙幣が発行されていたが、日清戦争の賠償金を利用して金本位制を確立した。

イ. 国際的な銀の価値の低下により紙幣の価格と銀貨の価格が近づいたため銀兌換の紙幣を発行し、日清戦争後に金本位制に移行した。

ウ. 欧米の技術を導入して金鉱山の産出量が増加したため、金兌換の紙幣を発行した。

エ. 松方正義の財政政策によりデフレが進んだため、銀貨や金貨に比べて紙幣の価値が下がり、兌換紙幣を安定して発行できるようになった。

5. 下線部④に関連して、青山さんと馬場さんは「重工業と労働運動」について調べ、それぞれ調べたことについて会話している。次の会話文中の空欄 には後の記述aかb, 空欄 にはcかd, のいずれかが当てはまる。空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

青山さん:1870年代は世界的にみると第2次産業革命の時期で、重化学工業や電機工業が登場したけど、日本ではどうだったのかな？

馬場さん:日本では、重工業や鉱工業は当初は官営事業で進められて、1884年頃から とよばれる政府関係者とつながりのある有力な事業者に払い下げられたんだよ。

青山さん: の代表例は海運業の岩崎弥太郎だよね。

馬場さん:そうだね。岩崎弥太郎が作った三菱は長崎造船所や佐渡金山などの払い下げを受けて発展していったよ。でも重工業の中でも特に鉄鋼は大規模な製鉄所が必要だったから、なかなか民間の力では難しくて、1897年に官営の八幡製鉄所が設立されることになったんだ。

青山さん:軍備の拡充のためにも重工業、とくに材料である鉄鋼が国内で生産できるようにすることは重要だから、政府も力を入れたんだね。ところで産業革命が進んで工場制工業が盛んになると、人々の仕事や暮らしも変わるよね？

馬場さん:うん。産業革命によって工場労働者が増えたよね。

青山さん:産業革命が日本よりも早く進んだ欧米では、資本家と労働者との間の格差は19世紀半ば頃にはもう大きな問題となっていて、労働組合が結成されたりストライキが行われるようになってきたけれど、日本ではどうだったのかな？

馬場さん:日本でも工場制工業が発展するにつれて長時間労働や低賃金の問題が出てきて、日清戦争の頃には待遇改善や賃金引き上げを要求する工場労働者の

ストライキが始まり、1897年には Y が結成されたんだ。

青山さん:世界でも日本でも同じような問題が起きるんだね.勉強になるなあ.

Xに当てはまる語句

- a. 華族
- b. 政商

Yに当てはまる語句

- c. 友愛会
- d. 労働組合期成会

ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

ヨーロッパ近世は、キリスト教統一体としての中世に続く時代である。ヨーロッパ中世の人間観は「人は不浄で無力な存在」だった。この人間という存在を肯定し、自然のあり方を合理的に見るようになるのが近世である。歴史学者達はヨーロッパ近世の始まりをルネサンス(「再生」の意味)に置いた。ルネサンス期に「再生」したのはキリスト教以前の古代ギリシア・ローマの文化だった。文芸や思想面におけるこうした動きを [6] と呼ぶ。

ルネサンスは物質面にも光を当てた。例えば、天体の動きをめぐる地球球体説がトスカネリによってとなえられ、地動説が [7] によってとなえられ、人々の世界観を変化させた。重要な発明もされた。中国伝来の火器の改良は軍事革命を起こし、同じく中国から伝来した羅針盤はヨーロッパ人の海洋進出を促し、世界を大きく変えていくことになる。さらに、グーテンベルクによる活版印刷術の改良は情報革命を起こし、その後の宗教改革の基盤になった。

[6] のもと、今日に伝わる文芸作品の数々が生まれた。ルネサンス期の文芸は古代ギリシア・ローマを模範としつつも、中世の公用語であるラテン語ではなく各国語で書かれた。ルネサンスの動きは古代の遺跡が多く残るイタリアで始まり、その後ヨーロッパ全体に広がっていった。例えば、イギリス・ルネサンスを代表する文芸として [8] の書いた戯曲や詩があげられる。また、美術としては、フランドルの [9] が描いた「農民の踊り」があげられる。 [9] は「農民画家」とも呼ばれ、中世の作品とは異なるテーマを数多く描いた。

イタリアで始まったルネサンスも、ドイツで始まった宗教改革も、中世キリスト教を否定する運動ではなかったが、近世に続くヨーロッパの近代精神の基盤となった。宗教改革運動はカトリック改革(対抗宗教改革)の機運も醸成し、三十年戦争(1618～1648年)に繋がり、この戦争を終結させたウェストファリア条約でひとつの区切りを迎えた。

同条約を節目に、ウェストファリア体制のもとで、17世紀後半に台頭したのがオランダ、そしてイギリスとフランスだった。

設 問

1. 空欄 ～ に入る語として適切なものを、選択肢からそれぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | |
|--------------------------------|------------|------------|
| <input type="text" value="6"/> | ア. 民族主義 | イ. 博愛主義 |
| | ウ. マルクス主義 | エ. 人文主義 |
| <input type="text" value="7"/> | ア. プトレマイオス | イ. ラヴォワジエ |
| | ウ. ニュートン | エ. コペルニクス |
| <input type="text" value="8"/> | ア. トマス＝モア | イ. シェークスピア |
| | ウ. セルバンテス | エ. ラブレール |
| <input type="text" value="9"/> | ア. ブリュエール | イ. ボッティチェリ |
| | ウ. ラファエロ | エ. ミケランジェロ |

2. 下線部①に関連して、16世紀から17世紀のルネサンスと17世紀の科学革命がヨーロッパ社会に与えた影響として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 人間の性質や政治の形態に関する古代の著作の影響力が衰え、18世紀にはそれらに影響されない啓蒙思想が広まった。
- イ. ドイツのカントは、自然法の理論を国家間の関係を分析するために国際法理論を創始した。
- ウ. デカルトの哲学により、人間の理性を万能とする合理主義が確立され、ヨーロッパの思想の柱の1つとなった。
- エ. 天文学など観察の対象となる自然界そのものが拡大したが、肉眼ではみえない世界については探究が向けられなかった。

3. 下線部②に関連して、宗教改革の説明として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 11

ア. 1517年にルターが贖宥状の販売に対して異議をとなえる「九十五カ条の論題」を発表して、大きな反響を呼んだ。

イ. ルターの主張はカトリック教会を根本的に否定するものではなかったもので、神聖ローマ皇帝のカール5世はルターを保護した。

ウ. バーメンの農民は、ルターの教えに反発して、説教師ミュンツァーを指導者にして農民戦争を起こした。

エ. スイスではルターの影響を受けたヘンリー8世が1534年に首長法を定め、ピューリタンとよばれるグループが彼を支持した。

4. 下線部③に関連して、カトリック改革(対抗宗教改革)の説明として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

ア. 1545年から開かれたニケーア公会議において、旧来のカトリック教義が再確認され、贖宥状の販売は禁じられた。

イ. カトリック改革でもっとも影響力をもったのは、イグナティウス＝ロヨラやザビエルらが結成したイエズス会の活動であった。

ウ. カトリック改革において、教会は禁書目録を廃止し、宗教裁判を抑制することとなり、知の守護者となっていった。

エ. カトリック改革の結果、18世紀までは、ヨーロッパ外へのキリスト教の浸透は、イギリスから北米大陸への移民や布教を除き、主にプロテスタントによって進められた。

5. 下線部④に関連して、三十年戦争とその講和条約であるウェストファリア条約の説明として適切でないものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

ア. 三十年戦争は、ベーメン(ボヘミア)におけるプロテスタント貴族の反乱をきっかけに勃発した。

イ. 三十年戦争には、プロテスタント国家に加えて、ハプスブルク家の勢力を抑え込もうとしたカトリックのフランスも反皇帝側で参戦した。

ウ. ウェストファリア条約においてスウェーデンとスコットランドの独立が正式に承認された。

エ. ウェストファリア条約は多国間条約であり、多数の国の国際条約という形で保証されたことで、主権国家体制が法的な裏付けを得て確立されていった。

6. 下線部⑤に関連して、17世紀のイングランド(イギリス)に関する説明として適切でないものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

ア. チャールズ1世は、国王の権力は神から授かったものであるという王権神授説のもとで絶対君主として統治しようとして議会と対立したが、これに対して議会は人権宣言を発して国王権力の縮小を要求した。

イ. 1640年に国王が再び議회를招集して課税しようとしたが、議会はこれに反発してピューリタン革命とも呼ばれる内戦が勃発した。

ウ. 1649年に、革命を指導したクロムウェルのもとで国王が処刑され、共和政が始まった。

エ. 重商主義に基づき、オランダの経済的覇権に対抗するために航海法が制定され、これが三次にわたるイギリス＝オランダ戦争の引き金となった。

7. 下線部⑥に関連して、17世紀のフランスに関する説明として適切でないものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

ア. 17世紀初頭のフランスにとってユグノー戦争以降の宗教対立を終わらせ、国王と政府の権威を確立することが最大の課題であった。そのため、ルイ13世は王権を制約する議会(全国三部会)を停止した。

イ. ルイ14世が即位し、宰相のマザランが中央集権化を進めると、貴族や地方の不満が高まり、1648年にはジャックリーの乱が勃発した。これはイギリス革命の影響も受けていたが、政府に鎮圧された。

ウ. 「太陽王」と呼ばれたルイ14世はヴェルサイユ宮殿を造営し、国内だけでなく国外にも大きな影響を与え、各国の宮殿や宮廷のモデルになった。

エ. ルイ14世がナントの王令を廃止したことにより、多数のユグノーが国外に流出した。

【Ⅲ】「10世紀から13世紀の東アジア世界」について、次の各設問の空欄〔16〕～〔25〕に入る語および説明として適切なものを、選択肢からそれぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

設 問

1. 8世紀半ばの安史の乱によって唐が弱体化すると、東アジアの勢力関係は大きく再編された。多くの勢力が興亡を繰り返し広げた中で10世紀初めには〔16〕。

- ア. 大祚榮が高句麗の遺民を率いて渤海を建国した
- イ. 日本は唐に公式使節を派遣していたが中断した
- ウ. 耶律阿保機がモンゴル高原東部を中心にキタイ(遼)を建国した
- エ. 唐の文成公主が吐蕃に嫁いだことにより唐と吐蕃の関係は安定した

2. 10世紀初め、北方で新たな遊牧勢力が台頭するなか、朝鮮半島では〔17〕が高麗を建国し、首都を開城に置いた。

- ア. 李成桂
- イ. 李元昊
- ウ. 完顔阿骨打
- エ. 王 建

3. 宋(北宋)では科挙によって選ばれた文民官僚が政治を行う文治主義が行われた。科挙の最終試験では、皇帝が自ら試験官となる〔18〕が実施された。これにより皇帝と官僚の結びつきが一層強化され、皇帝独裁が強まった。

- ア. 郷 試
- イ. 官 戸
- ウ. 殿 試
- エ. 会 試

4. 11世紀後半、北宋の第6代皇帝神宗のもとで宰相となった王安石は、財政再建と富国強兵をめざして新法と呼ばれる諸改革を実施した。この新法のうち、青苗法は[19]。

- ア. 貧しい農民に金銭や穀物を低利で貸し付ける制度であった
- イ. 物資流通の円滑化と物価安定をはかる制度であった
- ウ. 労役のかわりに集めた免役銭を財源に失業者などを雇う制度であった
- エ. 農民組織を作らせた治安維持を行わせる制度であった

5. 王安石の実施した新法に反対した旧法党の中心人物であった司馬光は、洛陽に退いて編年体の歴史書[20]を完成させた。

- ア. 『史記』
- イ. 『資治通鑑』
- ウ. 『魏略』
- エ. 『宋書』

6. 12世紀初め、北方の金が華北へ進出すると北宋と争いとなり、1127年には靖康の変によって北宋は滅亡した。北宋の皇族の一部は江南へ逃れ、皇帝欽宗の弟の高宗が即位して南宋を建て、首都を[21]に定めた。

- ア. 建康
- イ. 広州
- ウ. 開封
- エ. 臨安

7. 宋代には商業の活性化に伴い、銅銭が大量に発行された。価値の高い金や銀も地金のまま決済に使われた。遠距離取引に便利な手形は唐代に現れていたが、北宋ではこれがさらに発達し、紙幣の[22]として利用されるようになった。こうした貨幣経済は日宋貿易を通じて日本にも影響を与えた。

- ア. 交子
- イ. 飛銭
- ウ. 交鈔
- エ. 宝鈔

8. 13世紀にモンゴル高原の遊牧勢力を統一したチンギス=カンは、1206年の最高議決機関であるクリルタイで大カーンに推戴され、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統一し大モンゴル国を建てた。また、チンギス=カンは $\boxed{23}$ 。

- ア. 遊牧民を猛安・謀克という軍事・社会制度によって統治した
- イ. 西アジアに侵攻してアッバース朝を滅ぼした
- ウ. 中央アジア・イラン方面の新興国家ホラズム=シャー朝を滅ぼした
- エ. 朝鮮の高麗を征服して征東行省を設置し、日本遠征の準備をした

9. チンギス=カンの第3子で、大モンゴル国第2代皇帝となったオゴデイは、1234年に $\boxed{24}$ を滅ぼした。その後、オゴデイはジョチ家のバトゥを西方へ派遣した。バトゥはロシアや東ヨーロッパの諸地域を制圧した。

- ア. 西夏
- イ. 金
- ウ. 高麗
- エ. 南宋

10. モンゴル帝国第5代皇帝の $\boxed{25}$ は、中国全土を支配し、1271年に国号を元と定め、モンゴル高原と華北の境界に新たに大都を築いた。大都を介して陸路と海路のネットワークが結合され、商業圏も大いに拡大した。

- ア. グユク
- イ. モンケ
- ウ. フレグ
- エ. クビライ

(問題終わり)